

会 議 録

会議の名称	平成24年度第2回川越市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成24年11月19日(月) 14時00分開会 15時30分閉会
開催場所	7階第5委員会室
議長(委員長・会長)氏名	会長、副会長
出席者(委員)氏名(人数)	18名
欠席者(委員)氏名(人数)	3名
事務局職員職・氏名	森部長、島田副部長、奥富参事、有山参事、川野課長、荻田課長、小峰課長、水村副課長、芹澤副課長、波田野主査、阿部主査、岡田主任
傍聴者	2名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成23年度減量施策の取り組みについて 4. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 市民意見の聴取結果について (2) ごみ有料化の制度について 5. その他 6. 閉会
配布資料	会議次第 川越市廃棄物減量等推進審議会委員名簿 川越市廃棄物減量等推進審議会条例 第1回川越市廃棄物減量等推進審議会会議録 ごみ有料化制度の概要について【資料1】 家庭系ごみ等の費用負担に対する市民意見の聴取について【資料2】 家庭系ごみ等の費用負担について(中間報告案) 川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編(貸出用) 市民アンケート結果報告書(貸出用)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司 会 (資源循環推進課副課長)	<p>定刻となりましたので、平成24年度第2回川越市廃棄物減量等推進審議会を始めさせていただきます。</p> <p>審議会委員の皆様には、大変お忙しい中、本審議会にご出席くださいます。ありがとうございます。</p> <p>私は、本日司会を担当いたします、資源循環推進課副課長でございます。よろしくお願いいたします。</p>
出欠の確認	<p>本日の出欠でございますが、3名の委員さんが欠席となっております。</p>
司 会	<p>本日は、21名の委員さんの内、18名の委員さんにご出席いただいております。川越市廃棄物減量等推進審議会条例第5条第2項に基づきます過半数に達しておりますので、会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>それでは、本日の提出資料の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 川越市廃棄物減量等推進審議会委員名簿 ・ 川越市廃棄物減量等推進審議会条例 ・ 第1回川越市廃棄物減量等推進審議会会議録 ・ ごみ有料化制度の概要について【資料1】 ・ 家庭系ごみ等の費用負担に対する市民意見の聴取について【資料2】 ・ 家庭系ごみ等の費用負担について（中間報告案）【資料3】 ・ 川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編（貸出用） ・ 市民アンケート結果報告書（貸出用） <p>でございます。</p> <p>不足書類がある方いらっしゃいますでしょうか。</p>
司 会	<p>ここで、会長さん、ごあいさつをお願いいたします。</p>
会 長	<p>【挨拶】会長あいさつ</p>
司 会	<p>それでは、川越市廃棄物減量等推進審議会条例第4条第2項の規定に基づき、会長さんに議長となっていただき、議事を進めていただきたいと思います。会長さん、よろしくお願いいたします。</p>

会 長	<p>それでは、ただ今から、議長を努めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>まず、議題に入る前に、平成24年度第1回審議会の会議録の確認を事務局よりお願いいたします。</p>
司 会	<p>会議録の確認について、資源循環推進課長より確認させていただきます。</p>
事 務 局	<p>平成24年度第1回の会議録につきましては、前回の会議より期間がだいぶ経過してしまいましたが、第1回審議会終了後に会議録を郵送させていただきました。期間がだいぶ開いてしまい大変申し訳ありませんでしたが、その間、本日までにご意見・ご訂正はございませんでしたが、ご意見・ご訂正はございますでしょうか。</p> <p>もし、ないようでしたらこのように会議録をまとめさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。</p>
全 委 員	<p>【異議なし】</p>
議 長	<p>それでは、報告に入りたいと思います。まず、報告（1）平成23年度減量施策の取り組みについてを事務局よりお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>それでは、議題の内容にも関連してまいりますので、平成23年度減量施策の取り組みについてを議題に先立ちまして、資源循環推進課主査よりご報告させていただきます。</p> <p>【報 告】資源循環推進課主査報告</p>
議 長	<p>何か、ご質問などございますでしょうか。</p>
委 員	<p>小型家電の拠点回収をされているということですが、その実績が出ていれば教えてほしいのと、資源化センターと東清掃センターの方でも、不燃物の中から抜いている思うのですが、その実績がわかれば教えてください。</p>
事 務 局	<p>実績につきましては、本年6月より小型家電拠点回収を実施しております。月別ですと6月が9,170kg、7月が7,620kg、8月が6,080kg、9月が4,880kg、10月の数字はまだ出ておりません。6月から9月までの合計で27,750kgとなっ</p>

事務局	<p>ております。</p> <p>施設の方につきましては、昨年12月より実施しております、何tという数字は本日持ってきていないのですが、不燃ごみ中の小型家電を引き抜きまして、約9%程度の引き抜きを行っている状況です。やはり不燃ごみですので、年末等は不燃ごみがかなり多いのですが、月により引き抜き量は前後するといった状況です。また、他市の状況についても9%から10%程度となっております。</p>
事務局	<p>補足させていただきます。先ほど申しました数字には拠点回収のほか、つばさ館での常時受け取りも含まれております。</p>
委員	<p>拠点のみの数字はわかりますか。</p>
事務局	<p>全部混ざってしまっているのでわかりません。</p>
委員	<p>つばさ館には、個々に持ってきたものの受取りで、不燃から引き抜いたものではないですね。</p>
事務局	<p>はいそうです。</p>
委員	<p>減量施策の結果について、個人的に思ったのですが、全体的に不景気なのでごみの排出量も減少していて、データを見ると右肩下がりかなと思いますが、その中で衣類だけは右肩上がりで推移していると見受けられます。それだけリサイクルしたいという市民の現れなのかと見えるなかで、以前可燃ごみの中の衣類の混入率が高いということですが、市民の衣類リサイクルの関心率を考えると、定期的にやった方がもっと効果があり、リサイクル率も24%から30%にするということでも6%上げるのはかなり難しいので、強烈に率を上げるとすると布類はかかせないと思います。また、古着は現在売買価格が右肩上がりの状況なので、集めても売れるということであれば、市としてのコストもだいぶ抑えられるのではないかと感じました。そして、前にも言いましたが定期回収については、どうお考えなのでしょう。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり布類は春と秋の衣替えシーズンに実施しております。かなり回収量も増えておりまして、普段の日も出せないのかという要望もいただいておりますので、手始めに小型家電はつばさ館で常時受付をしておりますので、これと同じ様な形でなるべく早い時期に</p>

	<p>つばさ館でも常時回収するやり方を考えております。その次のステップとして定時収集の中に布類を入れられないかということを検討しております。ご指摘のとおりだと思います。</p>
議 長	<p>それでは、議題（１）市民意見の聴取結果についてを事務局よりお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>市民意見の聴取結果についてを、資源循環推進課主査よりご説明させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">【説 明】資源循環推進課主査説明</p>
議 長	<p>何か、ご質問などございますでしょうか。</p>
委 員	<p>今回、講演会やワークショップを行って多数の市民の意見を聞くことが出来たと思いますが、有料化に反対や減量化が進むのであれば有料化もやむを得ないといった様々な意見が出たと思いますが、市はこの結果を受けて思った感想ですとかを教えてください。</p>
事 務 局	<p>今回大変貴重な意見をいただきました。その中でやはり先程も説明がありましたPR不足といった市からの情報が少ないといった点については真摯に受け止めないといけないと考えております。今までいただいておりますお話の中でも、市で出している広報は出しても読まない方が多いという意見もいただいております。ですから情報の出し方については多面的な方法を考えていく必要があると考えております。今回の講演会・ワークショップはひとつの市民の意見をいただくまたこちらの情報を提供するといったひとつの手段としてやったという側面もございます。なにが知っていただくのに良い方法なのかということについては、はっきりと決め手がないといえますか、いろんな場面で数多くやっていくしかないのかなということがご意見をいただいて実感していることでございます。</p>
委 員	<p>情報収集ということで、ワークショップを行ってその後インターネットでの意見が22件ということで、川越市民の方が何パーセントぐらいインターネットを活用し情報をキャッチしているのか、いろいろな年齢層がありますからパソコンのないお宅もあるでしょうし、その辺のところ川越市としてだいたいこのあたりの層が見ているといった想定とかはしているのでしょうか。</p>

事務局	<p>パソコンでのインターネットが最近普及してきていると思いますが、今ですとスマートフォンですとか携帯電話の普及に伴いまして、インターネットをご覧いただける環境というのがかなり改善してきていると思いますが、その数字までは申し訳ありませんが、把握できていません。</p>
委員	<p>私は講演会に参加させていただきましたが、思ったより男性の方が多く参加していてびっくりしました。女性の方が参加すると思っていました。市民として地に足をつけてよくごみを排出している人たちにごみを出すときの問題というのは、提供していくことが必要だとかねがね思っていたのですが、ある程度の結果としては、男女差は特になかったのでしょうか。</p>
事務局	<p>講演会でのアンケートにつきましては、男性女性、年齢についても把握させていただいております。いま指摘のありましたとおり、一番人数的に多かったのが、60代の男性101名でございます。次に多かったのが70代男性90名となっております。総数で申し上げますと男性が217名、女性が60名、性別の表記がなかったのが1名、併せて278名の参加となっております。</p>
委員	<p>今回参加された皆様は広報を見て参加されていると思うのですが、そこは聞いてないのででしょうか。</p>
事務局	<p>後援会の情報源でどこから情報を得たかということは把握しておりません。</p>
委員	<p>男性が多いとのことでしたが、環境推進員の方たちにもお声をかけたという関係で、男性の方が多かったのかなと感じました。</p>
事務局	<p>今回、講演会を開催するに当たりまして、審議会の推薦母体、そういった団体さん等にもお声掛けさせていただきました。環境推進員についてもリーダー的な役目を担っていただいておりますので、ご案内の方はさせていただいております。結果としてお声掛けしたなかで、環境推進員の方は意識の高い方が参加いただいたかと考えております。逆にいいますと広報等を見て一般の家庭の主婦の方たちがどのくらいだったということは、そこまで把握しておりませんが、本来であれば委員さんのおっしゃられたようにその辺をターゲットにした人の集め方というのにも必要だと思いますが、なかなかそちらの方をお呼び</p>

<p>委員</p>	<p>するというのは、なかなか難しい側面もあると考えております。</p>
<p>事務局</p>	<p>アンケートの中からこれは参考になるといったことはありましたでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>減量を進めるにしても有料化を検討するにしても、PRというものが非常に重要であるということを重く受け止めております。例えばごみ減量だけのチラシを作るとかそういった部分というのは何か取り組みが出来るのではないかと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>実際にごみを出している方にPRをしなくてはいけないということでしたが、市としてはそういう方にどういったPRをしたらよいかという具体的な考えがありましたら教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>非常に難しいことでして実際にこれを事業としてやることを想定したときに、通常市ですと初めに広報、それからホームページといったものを従来行政という形のものやってきたということで、それ以外に個別のいわゆるチラシであるとかなんとか通信といったものを各事業の中でやってきたということがございますが、それが実際にごみを出す方にダイレクトにお届けするというのは、実際に我々の手を離れたあとにどういうふうに伝わっていくかというのは、非常に不明確な部分がございます。正直申しましてどういった手法が良いのかということも内部でまさに検討している状況であります。</p>
<p>委員</p>	<p>過去にもこの場でどういった方法でPRした方が良かったとありましたが、環境推進員や回覧版でどうでしょうかという話もありまして、この中を見ましたら回覧版は見ないということも出ていますので、広報もだめ、回覧版もだめとなりますと、いったい何が良いのかとなってしまいますが、やはりこれを根気よく地域の小さな単位に届くように各家々にまわる方向でしかないのかなと感じがしました。</p>
<p>委員</p>	<p>例えば不燃ごみ、生ごみというのを市の方でいつといった感じで決められていますが、それをもとに皆さんきちんとごみ出しをしていて、生ごみは何曜日といった感じで覚えていらっしゃると思いますので、そういったルートでやってみてはいかがでしょうか。皆さん関心があるのでちゃんときちんと皆さん守っているので、有料化になると皆さん困るんだけど、私も高齢者の方とお話するとごみの量は少ないからここで減量といっても困るし、値上げしても困るといった声が多いで</p>

<p>委員</p>	<p>す。なのでそういった形で明記すれば知らなかったということもないと思います。うちは事業系ですが、すぐ横に集積所があってきちんとやっていますので、広報を見なかったから解らないということもないと思います。</p> <p>今の話のとおり私の周りでもきちんと守られています。周りの話を聞いて感じるのは、有料化をお願いするに当たっても、減量化をお願いするに当たっても、やっぱりPRです。私の所属している団体でもPRが問題で団体に新しい人を入れるにあたりどういったふうにPRしたらよいかということが問題になっています。広報ですね、先ほど男性の方が多かったということでしたが、実は産博のときにお聞きしたら男女共同参画についても男の方が知っているんです。広報を見てここで男女共同参画を知ったというのは男の人だったんです。</p> <p>私も広報を見て昨日つばさ館まつりに行きましたが、お若い方がリサイクル自転車が売っているんだと言っていました。つばさ館まつりでも産博でも自転車が人気でとても関心があるから見ているのだと感じました。可燃ごみや不燃ごみというのは毎日のことなので関心がないと思います。</p> <p>PRについては、公民館というのは女性の方の利用が多いので、公民館を利用している登録団体に啓発をすれば実際にごみ出ししている方に啓発できると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>公民館を利用する登録団体への呼びかけというのは、一定の効果が得られると感じました。昨日つばさ館まつりの開催がありまして、つばさ館を開館して3年目になりますが、まだまだ知られていないというのが実情でした。昨日開催いたしまして口コミの効果を再認識させていただきました。こういった場所ですので1度来ていただければ良さですとかをご理解いただけますので、まず来ていただいた方が他の方に話していただくことはPR効果があるのかなと感じました。施設に関してはこういったことで良いかと思いますが、施策をPRし理解していただくには、どういう形が良いということは今頭を悩ませている状況でございます。</p>
<p>議長</p>	<p>続きまして、議題（2）ごみ有料化の制度についてを、事務局よりお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【説 明】資源循環推進課主査説明</p>

議 長	何か、ご質問などございますでしょうか。
委 員	金額設定のところでお聞きしたいいたします。ごみ袋の製造単価というか製造費はいくらぐらいで考えていますか。
事 務 局	先ほど坂戸市の例では、45リットル袋に対しまして1円50銭、10枚で15円で原価で販売しています。1リットル当たりですと20銭となります。
委 員	三条市では人口約10万人、世帯数3万4千人ぐらいだと思いますが、そこでごみ袋の製造原価が2,000万円です。逆算しないとよくわかりませんが、1リットルで20銭というのは、トータルでいくらになるのか後で教えていただきたいのですが、三条市はそれで出来ているので、仮に3倍だとしても5,000万円から6,000万円ぐらいで出来るのではないかと思います。引き続きお聞きしたいのですが、上限の1.5円でやった場合年間の総額は値段としてはいくらになるのでしょうか。
事 務 局	すぐにご質問の数字というのは難しいのですが、昨年11月14日の審議会でご提示いたしました資料ですが、川越市全体で総使用枚数でございますが、1,500万枚の使用枚数で容量でいいますと3億4千万リットルというかたちになりますので、こちらに先程の単価を乗じることで概ねの販売コストが出ます。総額で5億1千万になります。
委 員	この1.5円でやると製造コストは出ていませんが、三条市の例をとらせていただくと、別途手数料もかかると思いますが、手数料を含んだかたちだと、4億5千万円程度が単純に売上コストになると考えさせていただけると思いますが、そこから三条市では1割手数料を販売店に出しているということで見ると、4億1千万が市に利益という表現が良いかわかりませんが、使えるお金になるということで受け止めさせていただきました。そうしたときにより大きな金額になるということと、三条市では1リットル1円でやっています。はたしてこの1.5円というのがよいのかということは、私は1.5円は高いと感じました。1円でも高い。0.5円でも市には利益が出るというふうに受け止めています。ということをご意見として出させていただきます。それともうひとつが、収入の用途というところで、不法投棄対策に要するとありますが、先ほどいただいた意見集約の自由意

	<p>見のところに不法投棄に関する意見が多いと感じました。実際には有料化に賛成しながらも不法投棄を心配する意見が挙げられている中で具体的に市として不法投棄やルール違反に対してどのように対応していく考えがあるかお聞きいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>具体的な対策については、関係部署とも検討させていただいて、決めていくことになると思いますが、現状想定していますのは、パトロールの強化、集積所の排出指導監視員これについても市内で約8,600の集積所がありますので、これ1ヶ所1人つけますとかなりの金額になってしまいますので、こういった形で対応できるかということは、細かく金額等も見ながら対応していきたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>心配される意見が出ていて、現時点でそれが具体的にまだ決められていないとご説明いただきましたので、そのように受け止めさせていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>今回このごみ有料化制度の制度設計はたたき台ということで、今の段階で有料化については決定されていませんが、もし有料化になった場合に、今回この見直し案が審議会で審議されているということで、有料化されたときに、もう審議は終了しているみたいにはならないか確認いたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回の中間報告を受けまして、市民意見を聞いて見直しをさせていただいたということで、これが即川越市の有料化の制度だということではございません。</p>
<p>委員</p>	<p>この審議会から答申が出るとは思いますが、答申が出されたあとの、日程というのは出ているのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まだ、答申をいただいている状況で、どういう日程というのは決まっておられません。</p>
<p>副会長</p>	<p>確認事項でよろしいでしょうか。平成22年度でしたか、この減量審議会の答申としてごみの有料化を検討してくださいという答申を市長に答申しています。それに沿ってこの審議が始まっているのだと思います。この市の方で作ってくれた意見は、平成23年度終わり頃だと思いますが、私が仮に市が想定する有料化のたたき台でいいから作ってくださいということで作っていただいたのが、この平成24年度</p>

	<p>第1回で示していただいた案だと思います。それに対してこの前ワークショップをやったり講演会での意見を集約したものを介して今回修正してたたき台としてはこういったかたちですよと出してきたという認識でよろしいですね。なので、今年度の終わりに答申出すとか来年度に持ち越して結果をだすということは決まっていますよね。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、決まっております。</p> <p>時期につきましては、こちらからの希望というのはありませんが、審議会の中で話がありましたが、慎重に審議すべきとご意見いただいておりますので、慎重な中身の審議をお願いしたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>有料化制度についての資料については、今まで審議をしてきてこのような問題があるといったことで、ひとまず見直し案を出したと思いますが、先ほどから問題になっています市民の中で有料化が審議されていることを広報を見ないので知られていない方が多いと、一度有料化されると予算がどのくらいかかるとか、有料化することでごみ処理費用がどのくらい軽減されるとかという見えやすいものを広報に載せていただければと思います。それでも広報を見ないじゃないかと言われてしまうと、目立つところに乗せるとかの工夫していただきたい。また、防災無線というのは防災のためなので割り込むのは難しいと思いますが、利用させていただければ良いのかなと思います。</p> <p>今後の問題として有料化の方向で市が今までより一歩前に出たという考えでよろしいのでしょうか。市の方針としてはどうでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>有料化の方向性の話だと思いますが、方向性といたしましては市の総合計画、ごみ処理基本計画等でも有料化についてのことは謳わせていただいております。当審議会におきましても、何度となく検討すべきという答申を受けまして、方向性とすればそちらの方向に向かっていくべきであろうと考えております。それをどのようにやるのかという部分についてはいろいろとご意見を伺う中で審議会の中でやっていくものだと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>私の自治会でも有料化は必要ではないかと出ています。ただし前回委員さんよりお話にありまして900円くらいかかるという話をするとはやはりかなり厳しい顔をされていまして、特に高齢者で2人暮らしのところはそれじゃねといい、どれくらいだったらと聞きましたら500円くらいならと言っていました。2人暮らしなので積算すれば300円、200円となるのかで、私のところは1,800世帯ありま</p>

<p>委員</p>	<p>すので、ほとんどの人に聞けますし、ほとんどの人が賛成してくれると思います。なのでもっと自治会等を利用するということと、漫画風で見やすいパンフレット等を作り自治会等で活用していただくといったような努力が足りないと思います。それから前回生活保護世帯に配慮してくれと言っておられますが、その辺に対しましてもパンフレット等でわかりやすく説明すれば、賛成者も増えると思います。</p> <p>先ほどの意見に同感なのですが、私も消費者代表として審議会に参加していますが、市民の方はインターネットを利用の方も少ないし、講演会やワークショップについても少人数ですので、ただやったという事柄だけ残っていて広がっていないのが現実です。このことをもっとPRして川越市ではこんな問題が起こっているのかということを知ってもらって理解してもらうことで、少しお金の痛みはあるけれど、知って痛み分けするのとは違うので、市の方もPR不足と言いましたが、何らかの形で浸透できるように考えていく必要があると思います。先ほど布類の回収を増やすとありましたが、紙ごみについても定期的に増やしていくといった市の努力を示しながら市民の方に理解を求めるようなPRをしてからのの方が理解を得られると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>やはり生活保護世帯だけでなく、今こういった経済状況の中で働く方の収入が減っている中、市民に負担かけるという有料化というのは市民の方に重い負担になると思うので、慎重な審議を徹底していくことが必要ではないかと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>他にご質問ございますでしょうか。ないようでしたら、以上をもちまして議事を終了いたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>続きまして、次第5その他について、事務局ありますか。</p> <p>特にございません。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、これをもちまして議長の職を解かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
<p>司会</p>	<p>ここで、11月30日をもちまして、任期満了となります委員の皆様環境部長よりお礼のご挨拶を申し上げます。</p>

<p>環 境 部 長</p>	<p>本日は、ありがとうございました。</p> <p>本審議会委員の現任期が11月30日をもって満了となります。一言お礼申し上げます。</p> <p>この間、審議会運営に、ご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。</p> <p>現任期をもちまして委員を退かれます皆様におかれましては、今まで本審議会において、貴重なご意見をいただきましたことに関しまして厚くお礼を申し上げます。</p> <p>また、今後委員を継続いただける皆様におかれましては、引き続きの御審議をお願いしたいと存じます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>司 会</p>	<p>それでは、閉会の挨拶を副会長よりお願いいたします。</p>
<p>副 会 長</p>	<p>皆様、ご審議ありがとうございました。</p> <p>私は、かわごえ環境推進員協議会の会長をしておりますので、環境推進員も地域に近いところで活動しておりますので、協議会の中でも話をしまして、現在審議会の中で有料化に対する審議をしている旨を発信していけたらと思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>それと市の方をお願いしたいのですが、会議室で会議をしているだけではなく、一度資源化センターなり小畔の里クリーンセンターなどを視察させていただければ、また違う意見等も出るかもしれませんので、お願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>